

木の循環サイクルの役割を担う発電所



あしかがエコパワー発電所建設工事

あしかがエコパワー発電所は、街路樹・公園樹などの剪定枝や、人工林の間伐材などを利用したバイオマス発電所であり、15,000世帯分の電力を供給する。

山林資源を活用する木質バイオマス発電によりCO₂排出量を大きく削減するとともに、地場産業としての地産地消をすることにより山作りや地域活性化に寄与し、地球環境保護（sustainability）と循環型社会（SDGs）の実現を目指す。

令和6年2月に運転開始予定。

全景



工事概要

工事名	あしかがエコパワー発電所建設工事
工事場所	栃木県足利市山下町字向山2580番1他
工期	令和4年7月1日～令和6年1月31日
発注者	株式会社あしかがエコパワー
設計監理者	株木建設(株)一級建築士事務所
施工者	株木建設(株)
工事内容	用途：バイオマス発電所
	発電棟：S造地上2階建て 延べ床面積1,041.66m ²
	燃料棟：S造地上1階建て 延べ床面積1,073.33m ²
	灰搬出棟・生産設備用基礎

燃料棟



ボイラー施設



蒸気タービン施設



担当者の声



当工事の工程は、プラント機械搬入時期に合わせて工期が決められていたため、早い段階で作業員確保と製作物を発注しなければなりませんでした。工程の間に合わない場所は仕様変更を検討することにより、工期を遵守するよう注力しました。

発電所としては狭い敷地である中で、建設工事・プラント工事で設備の試運転を同時進行で行っていたため、毎日の作業エリア調整や搬入ルート確保に大変苦労しました。

残り工期あと1ヶ月を無事故で乗り切り、引き渡せるように気を引き締めて業務を遂行します。

東京本店 建築部

宮原和美

石井拓郎

荒木 知